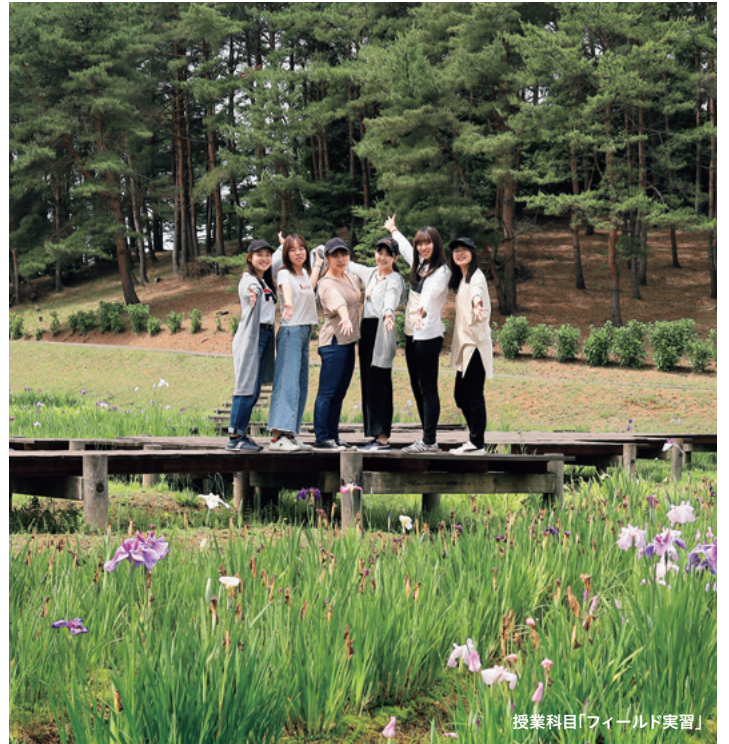


CAMPUS NET

特集
1年生の6カ月



授業科目「フィールド実習」



夏のオープンキャンパス



1年生の6カ月

私たちが
紹介します!

入学から約半年が過ぎ、すっかり
大学生らしくなった1年生をクロ
ズアップ。6カ月のトピックスや
ふだんの学生生活、大学で驚いた
ことなどを聞きました。



左から山崎菜月さん、飼沼菜々子さん、田中佑佳さん、
角田真優さん、吉田里菜さん、藤尾大夢さん

半年日記



4月 1日(月)
ひとり暮らし開始

入学と同時に始めてのひとり暮らしをスタートした学生も。近くのスーパーやドラッグストアの特売やポイントを上手に活用しています。



5月 10日(金)
サークルに加入

大学生といえば、サークル活動も楽しみのひとつ! 体育系や文化系のほか、看護大ならではの看護や地域活動のサークルも豊富。複数のサークルに入っている学生も多くなります。

笑顔ポーズ♪



4月 6日(土)
さくらウォーキング

春爛漫のキャンパス周辺を散策する恒例のイベント。新しい友だち、先輩方とこぼれこぼれと桜まつりも楽しみました。今年は桜の開花が遅れましたが、みんなが仲良くなる機会となりました。



4月 3日(水)
入学式

学内の講堂で行われました。入学代表の宣誓と学長式辞の後、石川県知事やかほく市長の祝辞をいただき、看護大生としての一歩を踏み出しました。

みんな
お似合い★



7月 20日(土)
待望のユニフォーム!

ユニフォームが届きました! 女性用は薄いブルーに白い縁取りがアクセント。男性用はシンプルで爽やかなイメージです。着心地も抜群。看護大生になった実感がわいてきます。

緑がいっぱいで
気持ちいい!



6月 20日(木)
フィールド実習

「地域」をキャンパスに学生自身が企画し14グループに分かれて活動します。能登町では3班が宿泊付きの実習を体験。地元の人たちとのふれあいが楽しかったです!



8月 27日(火)
選択授業 国際看護演習

今年度はアメリカと韓国。私たちは韓国に行きました。韓国の看護を勉強したほか、先輩や現地大学生との食事やショッピングも楽しみました。

1年生に聞きました



入学して半年間で印象深いこと

- ・先生と生徒の距離が近い。
- ・ひとり暮らしの人が多い。
- ・テストが大変!



大学で驚いたことは?

- ・キャンパス内でスマホが使える。
- ・髪型や髪色が自由。
- ・図書館が夜9時まで開いている。
- ・キャンパス内が大人な雰囲気。



高校とはココが違う!

- ・時間割に空きコマがあること。
- ・座席が決まっていなくて自由に座れる。
- ・自学自習が基本。
- ・授業が90分と長い。



看護大のココが好き♡

- ・エアコン完備で快適。
- ・先生が面白い。
- ・山が見える、海が近い、カフェやケーキ屋が近い。
- ・同じ目標を持つ人が多いので一緒に勉強できる。
- ・男子学生は少ないがタテのつながりが強い。



先生や先輩がやさしくて相談しやすい!



先生からひとこと

入学式から出会った仲間

自分から声をかけようか迷いながらはじまった大学生活。4月から7月まで展開されたフィールド実習では、一つの課題を仲間と共に追究することで絆が深まりました。この半年で一人ひとりが看護という道のスタートに立ちはじめたように思います。これからも私たち担任、副担任とともに看護を追究し続けましょう。(左から副担任の瀬戸先生、担任の石川先生、副担任の南堀先生)



気になる! 大学生活

学食のお気に入りメニュー

- ▶ オムソバ
- ▶ 唐揚げ
- ▶ チキンカツ



ランチはお弁当派も多数!

アルバイト先の例

- ▶ 道の駅高松
- ▶ ファミレス
- ▶ 8番らーめん
- ▶ 和菓子屋さん



週3ぐらいが多数

通学ファッションのポイントとは?

- ▶ 好きなブランドでゆったり着られるもの
- ▶ 全身黒にならないように注意

楽な服装が人気でした!

カバンに必ず入っているのは?

- ▶ ガム
- ▶ スマホ
- ▶ イヤフォン
- ▶ 教科書
- ▶ リップ
- ▶ 手帳
- ▶ USBメモリ
- ▶ 筆箱
- ▶ ティッシュ
- ▶ 財布

カバンはリュックが人気!





講師 三部 倫子
Michiko Sambe

専門分野 社会学

● PROFILE

北海道生まれの道産子。長い東京での修行の後、ご縁があって石川に呼ばれ、社会学を看護師の卵さんたちに教えています。趣味は旅行、武道（空手・合気道）。

性の多様性から考える家族

「LGBT」なのか性の多様性なのか

最近よく「LGBT」という言葉を耳にします。その言葉を聞くと、「世の中にはそういう人たちがいるんだな」と思えますよね。この「LGBT」という言葉は、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの英語の頭文字をくっつけてつくったもので、色々な性的マイノリティをひっくるめて表現するものです。この言葉は「マイノリティ」、つまり社会の多数派ではない人たちにスポットライトを当て、目立たせることができます。目立つようにしなくてはならない（なかった）のは、異性が好きで、生まれたときに与えられた性別に特に違和感なく暮らす人が「ふつう」とされる社会で、そうではない人たちは「いない」ことにされてきたからです。LGBTは「いない」前提で社会はつくられてきました。

でも、誰を好きになって、誰と家族になるのか、自分の好きな格好で生活することは、LGBTの人たちだけに関係することではないですよ。好きになった人と別れたら悲しいし、家族になにかあったら辛い。私たちの性や家族の有り様は、人生と同じく、とても多様です。

性の多様性を切り口に考える家族

「本来家族は多様なのに社会ではそう扱っていない」「では、家族と社会の間でどんな軋轢が生まれているのか」という問いを立てて、私は研究に取り組んでき

ました。まず、子どもからカミングアウトされたら、親はどう受けとめるのかを問う研究をしました。インタビューに応じてくれた人たちの「ショック」の多くは、社会から「こうあるべき」という押しつけによるものでした。次にカミングアウトする側の子どもたちは、どうやって親になるのか疑問に思い、女性同士で子どもを育てる人たちにも話を聞き、産むだけが親になる方法ではないこと、親の人数は一人や二人だけではないこと等、家族の当たり前をずらしながら家族をしている姿をみてきました。

看護大学に来てからは医療機関における家族の扱いに興味を持ち始め、医療現場では「家族」という言葉のもとでどのようなやりとりがなされているのか、具体的には手術の同意は誰ができるのか、慣習のなかに息づく社会の「ふつう」は何かを問い続けています。誰もが安心して医療にかかり、治療に専念できるよう、自らの研究の社会還元を強く意識して取り組んでいます。



イチオシ!

サンフランシスコ市庁舎にあるハーベイ・ミルクの胸像。彼は偏見の強かった1970年代にゲイとカミングアウトし政治家となりますが、凶弾によって命を奪われました。



助教 大江 真吾
Shingo Oe

専門分野 精神看護学

● PROFILE

1982年、富山県生まれ。2015年、金沢大学医薬保健学総合研究科保健学専攻博士後期課程修了。大学卒業後、4年間県内の病院の精神科にて臨床ナースとして勤務。2011年に石川県立看護大学助手、2012年より同助教。

発達障害をもつ方へ看護師ができることを探して

発達障害をもつ方との出会い

みなさんは「発達障害」をご存じでしょうか?最近ではマスメディアや書籍等でもよく目にすることがあると思います。ひとくちに「発達障害」といっても、実は特徴や成り立ちによって細かく分けられています。現在、社会では「発達障害」がいろいろな場面で聞かれ、またその患者数は年々増加していると言われています。もちろん看護師もいろいろな場面でかかわっています。

私は看護師として病院に勤務していた頃、発達障害の一つであるアスペルガー障害の患者さんを受け持ちました。かかわっていく中で、退院間近となった患者さんから「どうせ大江さんもおれの話を書いてくれないでしょ。」という言葉が出ました。私は患者さんと何でも話してきたと思っていましたが、その患者さんにとってはそうではなかったのです。その方が退院されるまで受け持ち看護師としてできる限りのことを実践しましたが、最後まで何でも話せる関係性にはなれていなかったのではないかと今でも力不足を悔やむことがあります。

自閉症スペクトラムをもつ方によりよい看護ケアを提供するために

臨床での経験から、私はこれまでアスペルガー障害や広汎性発達障害などの現在の診断名では自閉症スペクトラムとなる障害をもつ方と、その方をケアする看護師を対象

として研究を行ってきました。その中で、看護師は日常的な看護ケアの場面や認知面への介入の場面において、いろいろな方法を用いて自閉症スペクトラムをもつ方にかかわっていることが分かりました。しかし自閉症スペクトラムをもつ方へのインタビューの結果から、自閉症スペクトラムをもつ方は看護師を頼りにしている一方で希薄な存在であるという両価的なとらえ方をしていることが分かりました。そこには自閉症スペクトラムをもつ方のニーズと看護師が提供する看護ケアの間にズレが生じていると考えられました。これらのことから、現在は看護ケアの場面で自閉症スペクトラムをもつ方と看護師の双方にインタビューを行い、起こっているズレを明らかにすることで効果的でニーズに合った看護ケアを見出す研究を進めています。

看護におけるこの分野はまだまだ発展途上であり、研究としてのエビデンスを積み重ねていく必要があります。今後も研究を進めていき、自閉症スペクトラムを始めとした発達障害をもつ方への看護ケアを確立していくことを目指していきます。



イチオシ!

休日はよく海に行きます。何もせず海を眺めていると良い気分転換になります。本学のすぐ近くにも海があって、夕日は特にきれいです。

新任教員紹介

今年度、赴任した先生方です。よろしくお願いします！



①出身地 ②前任 ③現在の仕事内容 ④趣味



紺家 千津子 成人看護学 教授

- ①石川県金沢市
- ②金沢医科大学看護学部
- ③成人看護学について教えています。研究は、褥瘡（床ずれ）やおむつかぶれなどの皮膚トラブルに関する予防と管理に関する創傷看護分野が専門です。
- ④温泉めぐり、レース編み。



浅見 美千江 附属看護キャリア支援センター 特任准教授

- ①秋田県秋田市
- ②金城大学看護学部
- ③私が働いている看護キャリア支援センターは大学に附属した機関で、県内の看護職の資格取得やキャリア形成を支援する中核拠点です。現在は2020年度感染管理認定看護師教育課程の再開講に向け準備を進めています。
- ④最近のお気に入り、休日に小さな山や森を散策すること。



後藤 亜希 小児看護学 臨時助教

- ①石川県金沢市
- ②小松市すこやかセンター
- ③母子保健での経験を小児看護学の講義や実習に生かしています。地域連携事業で、子育て中のママへの支援を行いながら、虐待予防に関する研究を行っています。
- ④日帰り温泉めぐりをしながら、その地域のグルメ探索です。



西村 未来 母性看護学 助手

- ①石川県七尾市
- ②金沢医療センター
- ③同じ領域の先生方と協力し、学生さんに母性看護の魅力を感じてもらえるよう講義や演習のサポートをしています。学生さんと一緒に学ぶ事で、改めて母性看護の奥深さを実感しています。
- ④最近あまりできていませんが、アクセサリー作りや裁縫が趣味です。



牛村 春奈 在宅看護学 助手

- ①石川県宝達志水町
- ②石川県内の訪問看護ステーション
- ③在宅看護方法論の演習指導や実習での指導をしています。学生の皆さんに在宅看護について体験し、考えてもらえるように関わっています。
- ④家庭菜園で野菜を育てたり、花や木を植えて世話するのが好きです。



宮本 菜々恵 老年看護学 臨時助手

- ①石川県かほく市
- ②大学病院やクリニック
- ③教員の仕事は初めてですが、老年看護学の魅力を多くの方に知ってもらえるように、同じ領域の先生方に教えていただきながら、講義や演習、実習のお手伝いをしています。
- ④自宅が快適になればと、気が向いたときに絵本棚などD.I.Yをしています。

Letter from OB & OG 卒業生からの便り



東レ株式会社石川工場 総務課労務グループ 保健師
辻 真理子さん (2003年度卒業)

産業保健師は、企業の健康管理スタッフとして、従業員が健康で元気に長く働くことが出来るよう疾病予防や健康増進に関する活動をしています。従業員にとって、身近で困った時の砦となれるような存在を目指し日々奮闘中です。

卒業後、精神科看護師（夜勤有）、大学助手、健診機関保健師の経験を経て、夜勤がなくプライベート時間が確保出来る仕事で、病気の予防支援がしたい、と考えるようになり、適合したのが現在の仕事です。転職後は、規則的な勤務（土日祝日休み）でライフワークバランスが安定し、無理なく働くことが出来ます。このような転職を為し得たのは、保健師養成課程がある当校を卒業したからこそだと思います。



大阪がん循環器病予防センター 保健師 研究職
本田 瑛子さん (2009年度卒業)

これからは病気の予防が大切だから保健師になろう、また、保健活動はエビデンスをもって行わなければならないと、大学院に進学しました。大学院では公衆衛生活動を経験しながら、統計学的解析、それを学会で発表するなどして、多くのことを学びました。今でも学会は毎年参加し、最新の情報を得て、それを反映しながら保健事業に従事しています。学会で受賞したり、その研究テーマの専門性から講演依頼がきて忙しくなったりしながらも、地域・職域などの対象者、行政などの他機関、大学との共同研究を通じて、連携・協力の大切さ、保健師の楽しさを実感しながら、日々やりがいをもって過ごしています。





EVENT

第20回 入学式挙行
99名が希望を胸に入学

2000年に開学した本学にとって記念すべき20回生を迎える入学式が、4月3日(水)、本学講堂において挙行されました。お集まりのご家族の皆様、檀上の来賓の方々、そして本学教員が見守る中、華サークル手作りの生花のコサージュを胸に飾った学部生82名、大学院生17名(博士前期課程13名、博士後期課程4名)、計99名が石垣和子学長より入学を許可されました。



REPORT

猿鬼歩こう走ろう健康大会で
「看護大健康キャンペーン」を設置

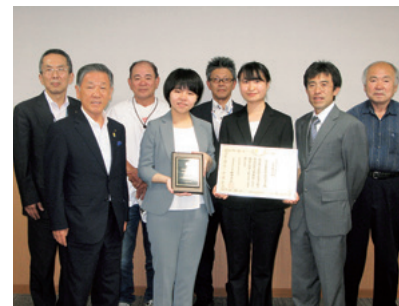
能登町住民の健康づくりをサポートすることを目的とした、来入喜人里創りプロジェクトの一環として、平成24年度から「猿鬼歩こう走ろう健康大会」に参加し、血圧、骨密度、体組成測定、がん検診勧奨活動を実施しています。本活動は、学部学生、大学院生、教員、卒業生が主体的に取り組んでおり、毎年、100名を超える方が看護大テントを訪れ、測定を楽しみにされています。



NEWS

垣花ゼミの「健康弁当」の取り組みが
農林水産省主催の食育活動表彰を
受賞しました

6月29日(土)に、アイメッセ山梨において第3回食育活動表彰式(農林水産省主催)が行われました。本学の学生が健康レシピを考案し、かほく市と連携して開発した「健康弁当」を地域へ広める垣花ゼミの9年間の活動が評価され、ボランティア部門(大学等の部)において消費・安全局長賞を受賞しました。今後も、産学官民の連携で地域の健康増進に貢献することが期待されています。



EVENT

私たちをもっと知ってほしい!
夏のオープンキャンパスを開催

7月13日(土)、学生と卒業生の協力も得てオープンキャンパスを開催しました。担当した学生達は少し緊張していましたが「高校生の聞きたいことに答えたい」と笑顔で心掛けていました。看護師はもちろん、それ以外の職業(保健師、助産師、養護教諭)で頑張っている卒業生も「高校生がよりイメージしやすいように」と丁寧に自分の仕事内容を説明しました。ぜひ一緒に将来の夢に向かいましょう!



TOPICS

2019年度
北信がんプロの活動状況

2017年度からスタートした第3期「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プランは、金沢大学、金沢医科大学、福井大学、富山大学、信州大学など医学部を持つ大学が中心となり、がん医療の専門家の養成を目指しています。本学は、がん看護に関する専門医療人を養成することを使命とし、がん専門看護師の育成やがんゲノムにおける看護師の役割、リンパケア研修などを開催しています。



REPORT

能登・祭りの環
矢波諏訪祭 参加報告

8月15日(木)、16日(金)の二日間、能登キャンパス構想推進協議会「能登・祭りの環」の企画として能登町矢波地区を訪れ、祭りを応援してきました。大型の台風10号がニアミスする中、県下三校から学生22名(うち本学学生16名)、教員4名(うち本学から川島教授、谷本准教授、市丸准教授)、ボランティア1名が集い、5台のキリコを担いで地元の方々と交流しました。祭りの様子は本学HPでもご覧いただけます。



REPORT

韓国看護研修に 10名が参加

8月25日(日)～9月8日(日)、韓国全羅북도全北大学校を拠点に、1年生4名、2年生4名、4年生2名が研修に参加しました。韓国の保健医療福祉関係施設を訪れ学んでいくうちに、日本と同じく深刻な少子高齢化が課題とわかりました。同時に看護師や看護の教員、そして現地の大学生等との交流によって親しみを持つだけでなく、お互いを理解し協力して解決できることがぎっとある、と感じました。



REPORT

アメリカ看護研修に参加した 4年生太田佑輝さんの感想

約2週間に及ぶワシントン大学での看護研修は、どれも新鮮なものばかりで、貴重な体験となりました。異文化との交流や見知らぬ地での経験は、看護に携わる際に必要な行動力や考察力、そして積極性を育む機会となりました。国によって言語や人種が異なるように、医療のシステムも国によって様々です。現地でその違いを経験することで、日本の医療の問題点を考える基礎を構築することができたと思います。



EVENT

第20回看大祭 「COLOR OF LIFE ～みんなの心に色をつけよう～」

10月19日(土)と20日(日)、大学が多くのステージプログラム、出店などでにぎわいました。フリーアナウンサーの白崎あゆみ氏、アパホテル株式会社社長の元谷美美子氏の講演も行われ、多くの学生・卒業生や地域の方々にご参加いただきました。19日午前にはオープンキャンパスも同時開催しました。ご来場いただきました皆様ありがとうございました。地域の方々や企業・医療機関のご協力があったはじめて看大祭が成功したことに感謝致します。



附属施設 INFORMATION

附属図書館

新任職員のご紹介

①出身地 ②前任 ③現在の仕事内容 ④趣味

藤田 一彦
附属図書館 専門員



①石川県白山市
②金沢市立小將町中学校
③本の貸し出しや返却だけでなく、新しい本を購入するための手続きや古くなった本の整理などもしています。また、図書館を皆さんに有効に活用してもらうためにはどうしたらよいのか、担当の先生方と話し合ったりしています。
④「数独」ボケ防止に始めたら、結構はまってしまいました。解けたときの気分は最高ですね。

明畷 賢悟
附属図書館 司書



①石川県金沢市
②金沢星稜大学図書館
③新しく購入や寄贈された図書・雑誌などの登録とカウンターでの貸出・返却などの業務を担当しています。
④歴史関係の本を読むこと

地域ケア総合センター

JICA日系研修

「高齢者福祉における ケアシステムと人材育成」

13年目のJICA日系研修は、パラグアイ共和国から、伊藤清志さんと林美代子さんのお二人をお迎えしました。研修内容は、学内講義、羽咋市内の施設見学、アクションプラン作成でした。期間中、学生に向けてカントリーレポートを発表くださいました。帰国後は、今までの研修生と連携し、福祉用具や送迎車などを取り入れ、パラグアイ日系高齢者福祉に貢献して下さると思います。



看護キャリア支援センター

看護キャリア支援センターは 認定看護師教育課程を 開講しています！

キャリアアップを目指す5年以上の看護歴のある看護職を対象として、看護キャリア支援センターでは「認定看護師」を育成しています。これまで「認知症看護認定看護師教育課程」の修了生全員が認定審査に合格し、それぞれが自施設等で活躍しています。現在は3期生が受講中です。2020年は「感染管理認定看護師教育課程」を開講します。あなたも認定看護師の仲間になりませんか？ 随時、入試に関する相談もお受けしていますので、お気軽にご相談ください。



認知症看護認定看護師教育課程(講義・演習風景)

第39回 日本看護科学学会学術集会 開催迫る!

多くのおみなさまのご参加をお待ちしています

石垣和子学長が学術集会長を務める第39回日本看護科学学会学術集会開催がすぐそこに迫っております。「ヒトと人間(ひと)の科学を看護へ～時空を超える我々を知り、看護学を別次元へ発展させよう～」のテーマには、人類の発展過程を再びひととき多くの学問分野が蓄積してきた知見を看護学の視点からとらえなおし活用を探る機会にしたいという思いが込められています。学生や卒業生のおみなさまとも大いに議論したいと思っております。ご参加をこころよりお待ちしております。



一般の方にご参加いただけるプログラムもあります！
 詳細はホームページをご参照ください。 <http://www.jans2019.jp/>

多様な場で働き方を魅(見)せられる看護職の可能性

令和元年11月30日(土) 15:10~16:50
 ANAクラウンプラザホテル金沢 3階 風の間(西)

【お申し込み】
 事前予約 先着40名
 当日受付 先着100名様

ナーシング・サイエンス・カフェ
 中学生・高校生対象(事前予約要)

北陸の伝統発酵食品の文化と健康

令和元年12月1日(日) 13:50~15:30
 ANAクラウンプラザホテル金沢 3階 風の間(西)

【お申し込み】
 当日受付 先着100名様

市民フォーラム
 一般の方対象(当日受付)

第39回 日本看護科学学会学術集会

2019年11/30(土)~12/1(日)

会場：石垣 和子 (石川公立看護大学学長) 会場：石川県立音楽堂 ANAクラウンプラザホテル金沢

【お申し込み】
 事前予約 先着40名
 当日受付 先着100名様



準備中の風景
 学長をはじめ、多数の教員が関わって準備を進めてきました

令和元年度 後期 キャンパススケジュール	冬季休業	12月21日(土)~1月5日(日)	春季休業	2月22日(土)~
	卒業研究発表会	12月24日(火)	卒業式・学位授与式	3月14日(土)
	補講・試験	2月12日(水)~2月21日(金)		



石川県立看護大学グローバルはまなす基金



開学から20年が過ぎようとしている今日、社会や家族の変化、医療経済の危機に対応した医療の再編が間近いことが聞こえてまいります。本学では今後ますます時代や地域にあった看護師・保健師を輩出する努力を重ねる所存です。そこで、学生・大学院生の国内外研修を推進する事業や、教育・研究活動において地域社会に貢献する事業を推進することを目的に、「グローバルはまなす基金」を設立しました。趣旨にご賛同いただける方からのご寄附をお待ちしております。

お申込み・お問合せ先 (石川県立看護大学総務課) 076-281-8300

